

8月28日、29日の2日間名古屋にて第43回日本受精着床学会が開催されました。当院からは院長と培養士2名が参加しました。

今回、画像一枚による胚評価ツール Life Whisperer は移植胚選択に有用かというテーマでポスターにて報告しました。Life Whisperer は1枚の胚盤胞画像からAIによりスコアリングできる胚評価ツールで、非侵襲的に妊娠予測と正倍数性予測が可能であり、今回その有用性について検討しました。今回の検討より、妊娠予測については培養士がつけた Gardner 分類と有意差がなく同等の精度が示され、正倍数性についてはAIによるスコアが高くなるにつれ正倍数性胚率が上昇しました。Life Whisperer を利用することで正倍数性である可能性が高い胚を非侵襲的に選択できる可能性が示唆され、また、臨床妊娠率においては Gardner 分類と同等の精度であったことから、Gardner 分類にAIのスコアを加味して移植胚を選択することがもっとも有用であると考えられました。

今回の学会では凍結融解についてのワークショップに参加しました。胚へのダメージを減らすために凍結融解で気をつけるポイントや手技を学びなおすことができました。今後も私たち自身の知識をアップデートするためさまざまな学会に参加し、さらに患者様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。

